

試合番号 : 423		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 2,622								
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:23		試合時間 : 01:23		主審 : 明井 寿枝		副審 : 品川 美帆						
NECレッドロケッツ		通算	15勝	8敗	日立Astemoリヴァーレ		通算	10勝	13敗					
		ポイント:	48				ポイント:	29						
監督コメント	今日からリーグ戦3回戦目ということで、もう一度サーブをアクレッシブに攻めていると準備してきます。自分たちの強みをしっかり出したことが勝因だったと感じています。明日はまた違う対戦相手となりますが、今日の課題を修正してより良いプレーボールが出来るように準備していきたいです。ホームゲームもあと1戦となりました。皆さんのおかげで本当に素晴らしい環境の中で戦うことが出来ています。明日も熱い応援をよろしくお願いいたします。				3	25	第1セット	18	0	監督コメント	リーグ戦2回戦目の終盤の戦いに続き、3回戦目を良い形でスタートしたかったのですが、自チームの攻撃が得点に繋がらず敗れました。中盤まで良かったのですが、後半の戦いが上手いかなかったので修正し、明日の試合に入りたくと思います。各チームと最後の戦いになるので、悔いの残らないよう一戦一戦大事に勝負していきます。切り替えて、明日も粘り強く戦いますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。			
	ホームゲームで連勝し4位以上に浮上したいNECレッドロケッツと、前回の対戦同様勝利を収めて順位を上げたい日立Astemoリヴァーレとの一戦。第1セット、序盤はNECが古谷のブロック、塚田のサーブエースで率先の良いスタートを切る。対する日立Astemoは、野中を中心に好レーブを見せ、渡邊や長内がアタックを決めて追いつける。波に乗るNECは島村、古賀のアタックが連続で決まり、会場のファンを盛り上げる。追いつきたい日立Astemoは藤原を中心に粘り強く粘り、長内や野中がアタックを決めるが、終盤以降、7点差の大量リードを守ったNECがこのセットを取る。													
	第2セット、セットを取り返したい日立Astemoは入澤がブロックを決めて波に乗るが、第1セットの勢いを守つてNECは塚田が攻撃陣を揃えて得点を重ね、序盤から一進一退の攻防が続く。中盤、NECは古谷の緩急をつけた攻撃や上野の鋭いアタックが次々と決まり、4連続得点を上げて点差を広げる。日立Astemoは途中出場の室岡やオクム大庭が活躍するが、流れを引き寄せることが出来ず、NECがセットを連取する。													
	第3セット、後がない日立Astemoはスタートから起用したオクム大庭が、連続サーブエースを決めて流れを引き寄せ。主導権を渡したくないNECは、島村、古賀が奮闘し追いつける。中盤、長いラリーを制し波に乗るNECに対し、日立Astemoも雑賀の懸命な繋ぎから上坂や長内がアタックで攻め、互いに譲らない展開が続く。終盤、藤井のサーブが功を奏し、5連続得点を上げたNECがこのセットも取り、ストレートで勝利を飾った。													
	要約レポート													
試合番号 : 424		試合会場 : 大田区総合体育館				観客数 : 1,400								
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:53		試合時間 : 01:53		主審 : 津嶋 由香		副審 : 渡部 菜保子						
PFUブルーキャッツ		通算	9勝	14敗	トヨタ車体クインシーズ		通算	12勝	11敗					
		ポイント:	28				ポイント:	33						
監督コメント	今日も試合は単純なミスが勝敗を分けたと思う。このような形になってしまい、非常に残念です。残りの試合、1試合でも多く勝利を掴めるよう頑張りたい。本日も沢山の応援ありがとうございました。				1	22	第1セット	25	3	監督コメント	リーグ戦残りもう1回戦は、1つでも多く勝ち星をのぼし上を目指するために一戦一戦が大事になってくる。その中で勝利をつかめたのは非常に嬉しく思います。ゲーム展開として苦しい時間やシーンが多かったが、選手一人一人がアグレッシブに戦い、いい顔をしてプレーをしていた。明日もこの流れを切らさずに戦います。本日もたくさんの方の応援ありがとうございました。			
	第1セット、トヨタ車体クインシーズは全員でつなぎ、得点をあげてリードする。中盤、嶋原のブロック、ノータッチサーブエースでリードを広げる。対するPFUブルーキャッツはジャンのアタック、山下のブロック、鍋谷のサーブで相手を崩すが、トヨタ車体は山上がミスをおぼしめし、それに代ったダニエルのアタックでセットを先取る。													
	第2セット、トヨタ車体は山上、周田のサーブでリードする。その後もダニエルの強打、嶋原がアタックを決め、さらにリードを広げる。PFUはアコスタ、鍋谷を中心に良いサーブレシーブを返球し、得点に繋ぐことが、連続得点につながらない。セッターを代え流れを変えようとするも、トヨタ車体にセットポイントを取られる。PFU・鍋谷のサーブエースが炸裂し、追いつけるもトヨタ車体・嶋原のアタックが決まり、セットを連取する。													
	第3セット、PFUはメンバーを大きく代え、スタートからアコスタのサーブで相手を崩し、6連続得点をあげてリードする。トヨタ車体はハツタヤに代え、点差を縮めようとするが、勢いに乗ったPFUは林、鍋谷の好レーブをジャン、バルデスがアタックを決めて得点をあげていく。その後もPFUはどの選手も強気なサーブでどんどん相手を崩し、得点を重ねてセットを取り返す。													
	第4セット、トヨタ車体は吉永の強いサーブから、山上、ダニエルのアタックで1歩抜け出す。PFUもアコスタのサーブから瀬戸のブロック、バルデスのアタックで点差を縮め、鍋谷のブロックで逆転する。中盤、島原、バルデスの狙ったサーブで優位にゲームを進めるが、トヨタ車体は嶋原のブロックでデュースに持ち込むと、最後は嶋原、ダニエルのアタックが連続で決まり勝利した。													
試合番号 : 425		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 1,340								
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:29		試合時間 : 01:29		主審 : 吉岡 奈々		副審 : 澤 達大						
KUROBEアクアフェアリーズ		通算	8勝	14敗	埼玉上尾メディックス		通算	16勝	6敗					
		ポイント:	22				ポイント:	46						
監督コメント	前回のゲームの課題を修正すべく臨んだが、点数を獲得したい状況で相手に阻まれ、セットを獲得することができませんでした。上位チームの強さを改めて実感するとともに、我々が不足しているものを認識するゲームでした。引き続きチームが成長することを旨とし、全力で相手に向かっていきます。本日もたくさんの方の応援をいただきありがとうございます。				0	24	第1セット	26	3	監督コメント	声だし応援が可能になったKUROBEアクアフェアリーズのホームゲームで非常にタフなゲームでした。KUROBEの変化のあるサーブや粘り強いブロックによって、チームのオフェンス陣がストレスを受けました。KUROBEにブロックされた後も、気持ちを保って粘り強く戦ってくれたことが勝因となったと思います。3レグの良いスタートが切れました。ファイナルステージ進出を目指して、試練を乗り越えてチームの輪をより強くしていきたいと思えます。ご声援ありがとうございました。			
	現在、レギュラウンド3位の埼玉上尾メディックスと、10位のKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。両チームとも、この試合はどうしても落とせないと。第1セット、終盤まで一進一退の展開となる。KUROBEが18・20からイヴェギンのスパイク、ブロックなどで3連続得点し逆転するが、埼玉上尾もサンティアゴのブロックを含む3連続得点で逆転してデュースとなる。最後は埼玉上尾がサンティアゴ、内瀬戸の連続ブロックを決めてセットを先取した。													
	第2セット、序盤はKUROBEがイヴェギン、コクラムのスパイクなどで12・8とリードするも、中盤に埼玉上尾が内瀬戸、佐藤のスパイクなどで追いつき、このセットもデュースとなる。先にKUROBEがイヴェギンのブロックでセットポイントを取るも、埼玉上尾・佐藤がスパイク、岩崎がブロックを2本決めて3連続得点し、セットを連取した。													
	第3セット、序盤から接戦となる。13・13から埼玉上尾が内瀬戸、佐藤のスパイクで3連続得点すると、このリードを活かし終盤へ。KUROBEもコクラムのスパイク、ブロックで20・21と1点差まで追いつけるも、埼玉上尾の内瀬戸にスパイク、ブロックで連続得点され突き放される。最後は埼玉上尾の青柳が移動攻撃を決め、勝利した。													
	要約レポート													
試合番号 : 426		試合会場 : 黒部市総合体育センター				観客数 : 1,420								
開始時間 : 14:30		終了時間 : 16:26		試合時間 : 01:56		主審 : 佐々木 伸子		副審 : 饗庭 和恵						
デンソーエアリービーズ		通算	9勝	14敗	ヴィクトリーナ姫路		通算	3勝	20敗					
		ポイント:	28				ポイント:	14						
監督コメント	終盤戦を勝利から始めて、巻き返していこうと試合に臨みました。スタートは攻めるプレーを展開して、第1セットは取れました。第2セットからは、一進一退の攻防の中で、相手よりもリードする展開が作れず苦しみました。明日は、1点を取り切ることにチーム全員が集中して、エアリービーズらしいプレーをしていきます。今日も熱いご声援ありがとうございました。				1	25	第1セット	11	3	監督コメント	本日も大勢の皆様にご観戦、ご視聴いただきましたことに感謝申し上げます。第1セットのゲームの入りが悪く、ワンサイドの展開でこのセットを取られましたが、選手たちがやるべきことを明確にして、第2セットに臨み、流れを引き戻してくれたことが勝利につながりました。明日も良いゲームをお見せできるよう、チーム全員でコンセプトを明確にして、臨みたいと思えます。引き続きのご声援を、よろしくお願いいたします。			
	現在、レギュラウンド8位のデンソーエアリービーズと、12位のヴィクトリーナ姫路の一戦。第1セット、立ち上がりからデンソーがネリマン、兵頭のスパイクなどで5連続得点すると流れを掴み、その後も中元のスパイクなどでリードを広げる。対する姫路は宮部を途中交代でレフトポジションに入れるも得点に絡むことはできず、デンソーが大差でセットを先取した。													
	第2セット、序盤は接戦の展開となる。8・8からデンソーが松井のブロック、中元のスパイクで3連続得点してリードし、流れを掴んだかのように見えた。しかし、ここから姫路がブラクのスパイク、金田の連続サーブエースで追いつく。中盤、ブラクのスパイク、ブロックなどで4連続得点をあげて逆転すると、終盤には宮部が3本のスパイクを決め、姫路が奪い返した。													
	第3セット、8・8から姫路が金田のブロック、ブラクのスパイクによる5連続得点で流れを掴む。対するデンソーも兵頭のスパイクなどで4連続得点して追いつけるも、姫路がブラクのパワフルなスパイクで突き放し、連取した。													
	第4セット、序盤はデンソーがリードするが、姫路は金田、ブラクのスパイクなどで中盤に追いついて接戦となる。22・22から姫路の田中がデンソーのネリマンをブロックで止め、さらにブラクがスパイクを決めて2点差とすると、姫路がこのセットも取り勝利した。													
要約レポート														

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 427		試合会場 : YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)				観客数 : 1,045	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:31		試合時間 : 01:31		主審 : 弘中 秀治	
副審 : 森口 豊		東レアローズ		久光スプリングス		通算 15勝 8敗	
通算 ポイント : 49		25 第1セット 21		通算 ポイント : 43		3 0	
27 第2セット 25		監督コメント		25 第3セット 23		監督コメント	
25 第4セット		25 第5セット		本日は、沢山の方がホームゲームへお越し頂きありがとうございます。1週間あいての試合でしたが、試合の入りから全員が集中し、自分達の強みである攻撃を活かすことが出来ました。また、サーブレシーブが安定していたことも勝因だと思います。明日、東レとの戦いになります。今日以上のエネルギーを出し、全員プレーで戦います。今シーズン最後のホームゲームも応援よろしくお願いします。		今週末から終盤戦となり、タフな試合が続くと予想していた。相手のサーブで苦しめられ、自分達の攻撃を良い形で展開できなかったところ、ゲームの中で取るべきところを点数にできなかったことが敗因だと感じる。明日は、東レとはまた違ったチームとの一戦となる。今日の反省をしっかりと、切り替えるところは切り替えて、勝利につなげていきたい。本日は沢山の応援ありがとうございました。明日も応援よろしくお願いします。	
<p>ファイナル進出を目指す現在2位の東レアローズと4位の久光スプリングスによる上位対決。第1セット、クランの連続得点から先行した東レは小川のブロック、石川のスパイクでさらに得点を重ねる。久光は2枚替えて流れを変えようとするが、野呂、石川のスパイクで流れを渡さず、最後はクランのスパイクで東レが先取した。第2セットは、序盤からサイドアウトの応酬が続く。試合は接戦のまま終盤に突入。東レは野呂とクランがスパイクを決めるが、久光は途中から入った長岡のスパイクで勢いを押し返し、先にセットポイントを取る。しかし、東レは石川が粘りを見せてスパイクを連続で決め、逆転してセットを連取する。第3セットは、久光は長岡が先発し、流れを変えようとするも東レは石川、野呂のスパイクで先行する。中盤、久光は石井や中島のスパイクで応戦するが、東レはクラン、石川のスパイクで突き放し、最後は井上がスパイクを決めてストレートで久光に勝利した。</p>							

試合番号 : 428		試合会場 : YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)				観客数 : 1,051	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:19		試合時間 : 02:19		主審 : 原 啓之	
副審 : 長崎 有紗		JTマーヴェラス		岡山シーガルズ		通算 5勝 18敗	
通算 ポイント : 52		26 第1セット 24		通算 ポイント : 19		3 2	
25 第2セット 19		監督コメント		17 第3セット 25		監督コメント	
22 第4セット 25		19 第5セット 17		前回対戦時に悔しい負け方をした岡山に対してリベンジマッチとなる。アタック決定は五分、なかなか決定打を作れない中、メンバーチェンジした選手が流れを作ってくれた。ディフェンスで入ったメンバーも岡山のディフェンス力以上の働きをしてくれた。明日も大切なゲームとなります。しっかりと戦う準備をします。本日は、ありがとうございます。		ゲームとしては内容のある、シーガルズらしいバレーボールができるようになってきた。“気”の結集力を更に生かしてミスを少なくし、あきらめず頑張っていきたい。本日は温かい応援、思いのこもった拍手での後押し、誠にありがとうございました。	
<p>現在首位を走るJTマーヴェラスと岡山シーガルズの対戦は最後まで息の抜けない大接戦となった。第1セット、JTは林、田中のスパイクで前半リードするが、岡山は宮下的好サーブから連続得点で追いつき、セットポイントを取る。しかし、JTが林のスパイクなど4連続得点をあげて逆転し、セットを先取した。第2セット、サイドアウトの応酬で中盤まで迎えるが、岡山にスパイクのミスが出てJTにリードを許す。最後はJT和田のサービスエースと好サーブを榊原がダイレクトで決め、セットを連取した。第3セット、後のない岡山は好レシーブの連続でリズムをつかむ。佐伯のスパイクや宮下のブロックなどでJTを突き放し、セットを奪い返した。第4セット、岡山は3セット目の勢いをキープして中盤まで進む。佐伯、中本が力強いスパイクを連続で決めてセットを連取し、フルセットの勝負に持ち込んだ。第5セット序盤、岡山は佐伯、中本の両エースで得点を重ねてリードする。対するJTは西川、田中が意地のスパイクを決め、4点差を縮めてデュースへ持ち込む。最後まで岡山も粘りを見せたが一步及びず、JTが2時間に及ぶ激闘を制した。</p>							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算	
ポイント :		-		-		ポイント :	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算		- 勝 - 敗		通算	
ポイント :		-		-		ポイント :	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	
-		-		-		-	